

SKBで9555mmの大スパン実現

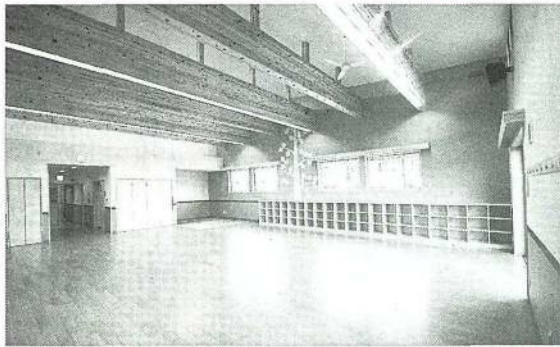
多様なオリジナル部材を提案

ポラテックでポルトラスで提案し、り替えて提案・採用さ
市、中内晃次郎社長）は、非住宅木造建築物の受注強化に取り組んでいる。大ス

ポラテック

パンを飛ばせるオリジナル部材の開発も盛んで、このほどスーパーキングビーム（SKB）を採用した学童施設花南わんぱく学童クラブ（岩手県花巻市）が完成した。

この施設は当初から東山設計の相談を受け



SKBで大スパンを飛ばしたホール

で9555mmの地域現場施工となった。SKBの設計者の狙いは、大スパンには3分割で納入し、現場組み立てで施工するものだったが、現場の敷地や初めての施工者のため、2000mm入した。SKB630mmを6丁使い、大ホールを構成した。コスト面では、STスパンを飛Tというウェブ部分にばせるとし金物を使った平行弦ト採用され、次にポルトラス、

た。SKBは集成平角を3丁合わせてI型梁のような形状にし、せ断キーという部材を差し込むことで強度を高めたもの。梁せいは630mmで済んだ。加工は東北工場で行い、現場で組み立て、現場施工となった。SKBの設計者の狙いは、大スパンには3分割で納入し、現場組み立てで施工するものだったが、現場の敷地や初めての施工者のため、2000mm入した。SKB630mmを6丁使い、大ホールを構成した。コスト面では、STスパンを飛Tというウェブ部分にばせるとし金物を使った平行弦ト採用され、次にポルトラス、

SKBという順になもある。この学童施設定こども園などの施設を延べ床面積251・の受注が増加しておの19平方メートルの平屋で、既り、各支店に非住宅担存施設の増築になる。当者を配置して対応力を高めている。